

### 今日は“スーパームーン”の皆既月食

月が地球の影に完全に覆われる皆既月食が、26日の夜、日本で見られます。日本で観測できる皆既月食は、およそ3年ぶりです。



皆既月食は、太陽と地球と月が一直線に並び、満月が、地球の影に完全に覆われる現象です。

国立天文台によりますと、月が欠けはじめるのは、26日の午後6時44分ごろで、午後8時9分すぎから、およそ19分間にわたって、影に完全に覆われる皆既月食となり、午後9時53分ごろに満月に戻るといことです。

大阪では一部が欠けた状態で月が現れ、そして、南東の空で皆既月食となる見通しです。

皆既月食の間の月は、見えなくなるのではなく、太陽光の中の赤い光が地球の大気で屈折して月を照らすため、赤黒い色に見えるということです。

日本で皆既月食が観測できるのは、2018年7月以来およそ3年ぶりです。また、26日は、一般にスーパームーンと呼ばれる、1年のうちで地球に最も近い位置で起きる満月で、最も遠くにある満月と比べて14%大きく見えるということです。

大阪市立科学館では、下のURLで科学館学芸員の解説とともに、配信をしますので、ぜひご覧ください。また、万が一、大阪で見られなかった場合も、国立天文台のHPやその他の地域の天文台でも配信するそうです。ハローキティチャンネルではハローキティがナビゲーターをするそうです。

何十年に一度のことですから、ぜひ観察しましょう。観察用のプリントを配ります。宿題ではありませんが、月の変化を記録してみましょう。

大阪市科学館皆既月食ライブはこちらから

<https://www.sci-museum.jp/event/kanboukai/>